

「2022年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学経済学部2年 戸田希美

①学習成果

今回の渡航で韓国人、そして韓国語を学ぶ学生に触れたことで、韓国語・韓国文化を学ぶ意欲は急激に上昇した。私はバイト先の韓国人観光客と少し話せたことがきっかけでこのプログラムに応募したのだが、この派遣中に外国人とコミュニケーションがとれるという喜びをより多く感じる事が出来たことが、更なるモチベーションのアップに繋がったように思う。しかし、一方で己の言語能力の不足を感じることも多くあった。これは勿論私自身の能力の低さに由来する部分もあるが、大学で話すことをメインとした授業を受けていないからであるとも考えられる。これまで散々耳にしてはいたが、日本の言語学習における「話す」能力の育成が、現在の方法では不十分であるということをも身をもって感じた。延世大学語学堂の先生は「日本の学生は文法・語彙はよく出来るが、話す能力が追い付いてない」ということをよくおっしゃっていた。日本語と韓国語の文法が似ているために勉強がしやすいというものもあるだろうが、やはりもっと韓国語を話すという練習をしなければならないと感じた。日本ではもっと、韓国語に限らず、外国語を学ぶ際には学校で受動的に授業を受けるだけでなく、主体的に課外活動や会話教室等に参加して実践的な語学能力を磨いていくことが必要になるだろう。

②海外での経験

今回の渡航でソウル市内や釜山を色々観光したけれど、やはり一番刺激的だったのは語学堂での経験である。語学堂での忘れられない体験が2つある。1つは、2級から3級へ上がろうと先生と交渉したことである。1,2回目の交渉では話す能力が足りないと断られ、諦めきれず3回目の交渉で先生から何故そんなに3級に行きたいのかと問い詰められ、拙い韓国語で必死に訴え続けたおかげで、漸く3級に上がることが認められた。自分がこんなに勉強のために熱心になれる人間だとは思っていなかったのも自分でも驚いた。この先生との対談で聞き取りや気持ちを伝える練習もできたので、大変良い経験だったように思う。2つ目は、授業最終日にクラスメイトと飲みに行ったことだ。習った文法や単語を駆使して皆と自分の考えや体験を話して、コミュニケーションがとれる喜びを韓国語で味わうことが出来て非常に高揚したのを覚えている。皆でプリクラを撮ったりSNSの交換をしたりして、普通の学生のようなことを語学堂の人達とすることが出来て、刺激的な体験であった。これらの経験を通して思うのは、やはり私の言語を学ぶ目標は人との会話にあるということである。つい忘れてしまう、人と心を通わせるということの喜びを改めて感じる事が出来て、このプログラムに参加して良かったと心の底から思う。

③プログラム内容

3/6-24日の間の平日に延世大学校語学堂にて韓国語の授業を受け、最終日に試験を行い修了する。数回、午後に延世大学校国際学部にて開講されている講義を聴講する。

④進路への影響

韓国語を学びたい意欲はあるが、それを使った仕事に就きたい、その為にまた語学堂へ入学したい、という気持ちは無い。しかし、韓国に関わる仕事をする道もあるかもしれない、と可能性は広がった。

韓国でお世話になった人へ

어학당 선생님들, 친절하고 정중하게 한국어를 가르쳐 주셔서 감사합니다. 선생님들에게 저는 3주 동안만 교실에있었던, 기억에 남지 않는 학생이었을 것입니다. 하지만 제게는 인생에서 매우 중요한 의미를 가진 3주였습니다. 그런시간을 만들어 주신 선생님들께 정말 감사드립니다. 어학당에서 배울 수 있어서 좋았습니다. 다시 만날 수 있기를바랍니다!

英語講義の感想

Professor Kahm gave a very friendly lecture on Korea. I had never studied world history and had little knowledge of the Korean War, but the professor made the talk very interesting.

What impressed me was that the talk began with the way history is interpreted. He said that facts are what we all accept as true, and that some people do not accept arguments. In light of this, I suppose that "history" is a composite of facts and arguments. Since history is written by someone, I felt that his/her arguments may have distorted the facts. I was also impressed by the professor's discussion of a current issue: on March 16, a Japan-Korea summit meeting was held and it was announced that Japan and Korea would resume friendly relations. I was not that interested in this news, but the professor spoke from the perspective of the United States, which should not have much to do with Japan-Korea relations, and I became interested. He said that the meeting was a good thing for the U.S. because a friendly relationship between Japan and South Korea would pose a threat to North Korea and China. It was a very meaningful time for me to have the opportunity to listen to such real-time commentary on world news. I would definitely like to attend his lecture again.